

令和 7 年 12 月 8 日

事業所名称…グループホームまごころの家・グループホームまごころの家こしばら

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 12 月 2 日（火）14 時～

出席者(予定者)

事業所	3 人	利用者	1 人
利用者家族	3 人	地域代表者	0 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他	0 人

令和 7 年 10 月～11 月のまごころの家、活動内容

(利用者について)

入退去・入院…入居 1 名（いんべホームより転居）

平均年齢 89 歳 最年少 80 歳 最高齢 97 歳 介護度平均 4.4 女性 9 名

季節の行事…大掃除（早めに取り掛かる）

誕生日会…1 名（海鮮丼・茶わん蒸し・煮しめ・フルーツ他）

15 時はケーキでお祝い

他の活動…クッキング（ふかし芋・パンケーキ・焼き芋・スイートポテト）

DVD 体操

外出状況…散歩

医療往診・受診…インフルエンザ予防接種 9 名 吉川歯科往診 内海皮膚科往診

ヒヤリハット…3 件。

身体拘束について…不必要な身体拘束になっていないか、見直しを毎月行っている。

虐待について…職員会議で研修を開催

(職員について)

職員自施設研修…10 月 インフルエンザ・感染症・誤嚥性肺炎

11 月 虐待・身体拘束・権利擁護・BCP 研修

その他…インフルエンザ予防接種

10 月 1 日付 1 名、いんべホームより異動

11 月 1 日付 1 名、いんべホームより異動

11 月 労働安定センター講師「グループホームの実態」

実習生受入…11 月 4 日～6 日（労働安定センター介護実務者研修生徒 1 名）

防災訓練 11 月 27 日 夜間想定（避難誘導・通報訓練・消火訓練）

○近所の方、ご家族から、野菜、お花、新聞ごみ袋、ウエスなど沢山いただく。

令和7年 10月～11月のまごころの家こしばらホーム、活動内容

(利用者について)

入退去や入院…入院1名 貧血治療の為、10日間生協HP入院治療

平均年齢 94.2歳 平均介護度 2.6 女性9名 最年少80歳 最高齢100歳

毎月の活動…クッキング(焼きそば) まごころカフェ パズル 折り紙 塗り絵

誕生日会…10月1名 ケーキでお祝い

外出支援…外出支援(個別対応) 散歩やドライブ

季節の行事…壁紙制作 折り紙で紅葉を作り、木は模造紙に色塗り。折り紙や色塗りが難しい方には、色紙をちぎって貼ってもらい地面を作って頂いた。皆で制作した。

美容散髪…12月を予定 ブルーライン美容室

医療受診・往診 ・釜瀬クリニック往診・つきざわ内科往診・あさひまちクリニック往診
・内海皮膚科往診・生協病院受診・市立病院受診

事故報告…1件 床に座っていた。

ヒヤリハット…0件

身体拘束について…毎月職員会議にて、身体拘束委員会を開催し話し合いを行っている。

センサーや柵については、必ず、ご家族の了解を得て使用。

虐待について…虐待防止委員会にて話し合っている。(9月に研修済)

(職員について)

職員自施設研修 10月 身体拘束

11月 BCP【自然災害】研修及び訓練

10月31日 1名常勤職員退職

10月1日、10月31日、11月1日 常勤職員いんべホームより3名異動

消防訓練

地域活動…なし

実習生受け入れ…介護労働安定センター1名受け入れを予定していたが、体調不良により欠席

○入居者様のご家族やご近所様よりウェス用の布や古新聞をいただく。

(意見交換)

包括

防災訓練ですが、外部の方を呼んでの訓練ですか？

ホーム

外部は呼ばず、夜間想定での訓練を夜勤者対象にしました。以前、消防署の方に、「職員が倒れたら、守れるものも守れない」と話しがあつたため、先ずは、職員が身を守りながら、通報、避難誘導などを行えるようにしています。また、ご利用者の中には、非

常ボタンを押される方もいるため、ベルの止め方について、再確認を行いました。

法人

ホームの前には、理事がおり、消防団もしている。他にも、近所に数名消防団がいる。何かあってもすぐに駆け付けてくれることになっているので、安心している。

家族

BCP とは何ですか？

ホーム

災害や感染症などが発生しても、業務を継続していくように、日頃から訓練、見直しを行っています。

法人

補助電力がある為、3 日間は、電気が使える。近所の方にも、携帯電話の充電などに役立ててもらえたらと思っている。

松江市

3 日あれば、十分です。こしばらホームの BCP は、今回、自然災害としていたが、他のホームがあまり想定していないので、良いと思った。

法人

台風や雪などは、事前に情報が入るので、対策がしやすい。以前は、法人から、対策のお願いをしていたが、今は、言わなくても出来ている。

家族

いんべホームでは、センサーを使用してもらっていたが、まごころは、センサーではなく、布団に鈴が付いている。転倒はして欲しくはないが、自宅で見えていても、転倒する時は転倒すると思うので、何かあっても覚悟はしています。

ホーム

いんべホーム、こしばらホームは広いので、音を拾いにくいので、センサーは必要。しかし、まごころは、他のホームよりは、コンパクトで音も拾いやすい。

法人

センサーが鳴ると、見に行く必要がある。しかし、何度も鳴り、訪室回数が増えることで、考え方によっては、監視にもとれる。

包括

鈴の音は柔らかいので、良い考えですね。

ホーム

現在は、鈴の音で拾えている。今後、鈴では不十分と感じたら、直ぐに、ご家族へ報告、相談（センサーマット）差し上げます。

法人

ヒヤリハットについて、大きな事故に繋がらないようにヒヤリハットを活用しているが、職員の入れ替え、場に慣れるまでが圧倒的に事故が多くなる。今後は、新人も慣れてくれば、ヒヤリハットの内容も業務の気づきなどに変化してくれれば嬉しい。

松江市

平成 12 年にグループホームが作られ、1 ユニットに管理者 1 名、計画作成者 1 名を配置し、個性を生かす、スキルを求められるものであった。現在は、グループホームは緩和されてきている。2 ユニットまで、管理者 1 名で OK。また、管理者が計画作成者を兼務することも可能になってきている。まごころの家みたいに、職員 6 人～8 人で、シフトを組むところは少ない。他のホームは、少ない人数で運営している。職員が充実することで、事故が減る。ヒヤリハットで圧倒的に多いのは、誤薬です。誤薬は、100% 職員のミス。職員が手薄の所は、誤薬が多い。

法人

昔は、薬のミスが重なった事があったが、重く考え、誤薬をなくすように、全ホームが取り組みをした。現在も、システムを変えないように実践している。また、一番下（新人）職員のスキルを上げる事が大事。ホーム長達には、その様に伝えている。

包括

こしばらホームでの、まごころカフェについて、ご利用者が店員になって、メニュー表やエプロンを着用して店員になる事で、役割があることが嬉しいのでは、と思った。

ホーム

一番お若い方で、店員さんをされることを楽しみにして下さっている。継続していきたい。

法人

残存能力が高いことで、ご利用者同士、ぶつかり合うこともあると思う。しかし、家でも、子供と親で考え方の違いでぶつかりあうことはある。ホームだから、特別な事ではない。

ホーム

自立度が高い分、転倒リスクは高い。目配りは必要。常に、居心地が良いように目配りをしています。

家族

私達で、何か出来ることがあれば何でも言って下さい。

ホーム

職員も充実してきたため、今後は、ご家族参加型のイベントを設けていきます。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	◎
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	◎